

◇————◇
公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.179 2026/5/15
◇————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★————INDEX————★

- [1] 【三役コラム】 JAPA 医学委員会の活動について
- [2] 【航空局】（周知）ビジネスと人権に関する行動計画について
- [3] 【航空局】「操縦士実地試験実施細則」等の一部改正及び
「技能証明書における備考欄の記載について」の新規制定について
- [4] 【VOICES FEEDBACK】
- [5] 【お知らせ】 RNAV 講演会 7/19 東京/オンライン開催
お申込受付開始
- [6] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [7] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内
- [8] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会案内

★————

- [1] 【三役コラム】 JAPA 医学委員会の活動について
副会長 田中 康浩

★————

皆様に、医学委員会の活動等について紹介します。
阿部委員長を中心に毎月1回の委員会を開催しています。
メンバーは、航空身体検査指定医の先生方と航空医学研究センターの先生、航空局の医学評価官、そして現役のパイロットを含む JAPA 会員の方です。先生方の仕事の都合上、委員会は、夜 19 時 30

分から WEB で開催しています。委員長と指定医の数人は、技能証明をお持ちです。指定医の先生方はエアラインの担当をされている方もいます。

委員会では、航空身体検査や航空身体検査審査会の現状等についての情報や意見の交換が行われています。航空局が設置する専門調査会や検討会についての情報や意見収集も実施しています。

私はその専門調査会や検討会に JAPA から参加しています。

インスリン療法に関わる専門委員会、航空機乗組員の使用する医薬品に関する意見聴取会合、航空医学分野の規制等に関する検討会、航空身体検査基準・航空身体検査マニュアルの見直し等に関する検討委員会などです。各会合で、我々にとって改善の方向になるように操縦士としての意見を述べています。

また、医学委員会の先生や局の医学評価官の先生のご協力のもと、毎年 2 月に航空医学適性セミナーを開催しています。

航空身体検査に関わっておられる多くの方に参加して頂いております。航空身体検査に関わる質問に対する回答も医学委員会の先生の協力のもと作成し、質問者に回答すると共に JAPA の HP に掲載しています。

医学委員会の活動にご理解を頂き、今後ともよろしくお願い致します。



[2] 【航空局】（周知）ビジネスと人権に関する行動計画について



航空局安全政策課より、標記行動計画について周知依頼がありましたので、お知らせいたします。

近年、サプライチェーン全体での企業の人権尊重の取組が求められおり、特に海外では欧州諸国を中心に関連の法規制が強化されています。

詳細はホームページをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/12384>



[3] 【航空局】「操縦士実地試験実施細則」等の一部改正及び
「技能証明書における備考欄の記載について」の新規制定について



「操縦士実地試験実施細則」等の一部改正及び「技能証明書における備考欄の記載について」の新規制定について航空局より通知文書を受けました。

【改正した通達】

- ・ 操縦士実地試験実施細則 自家用操縦士（1人で操縦できる飛行機）
- ・ 操縦士実地試験実施細則 事業用操縦士（1人で操縦できる飛行機）
- ・ 操縦士実地試験実施細則 型式限定変更
- ・ 国際民間航空条約の締約国たる外国の政府が授与した航空業務等の
- ・ 技能に係る 資格証書を有する者に対する取扱い

【制定した通達】

- ・ 技能証明書における備考欄の記載について

詳細はホームページをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/12403>



[4] 【VOICES FEEDBACK】

- <①> 離陸時の管制官とのミスコミュニケーション
- <②> 指示高度を守るのが難しい



- <①> 離陸時の管制官とのミスコミュニケーション

ヘリコプターの訓練フライトで添付図のような構造の空港離陸時に起こった事象です。

原図 報告者提供 エプロンにて ATIS (INFO-F) を聴取し、使用滑走路 (27)、および風向風速 (270 度 10kt) を確認し、管制官 (TWR) とコンタクト 当機：“(空港名) TWR, (当機), Request Departure Instruction to (VFR 通報点), I have Information F.” TWR：“(当機) Roger Taxi to Holding Point RWY 27.” 当機：“Taxi to Holding Point.” セルフコール (訓練生)：“Taxi to Holding Point RWY 27. T3 に向かいます。

” セルフコール (教官)：“Taxi to Holding Point RWY 27. T3

了解” Taxi 開始、機首が T3 方向を向いたあたりで TWR より

TWR：“(当機)、どちらに向かっていますか？” 当機：“T3 へ向かっています。

” TWR：“リクエストも受けておらず許可も出していません。勝手に移動しないでください。インターセクション・デパーチャーをリクエストする場合は事前にリクエストしてください。

” 当機：“どこに Taxi したらよろしいでしょうか？”

TWR：“それはリクエストによって許可を出しますのでリクエストしてください。” 当機：“了解しました。リクエスト Taxi to T3.

” TWR：“Taxi to Holding Point T3. Hold on T3 About 3 Minutes. Due to Wake Turbulence.”

当機：“Taxi to Holding Point T3. Hold on T3.” TWR：“RWY 27 at T3 Line Up and Wait. RWY 27 at T3 Cleared for Take - off.”

当機：“RWY 27 at T3 Cleared for Take - off.” その後、空港管制官から会社へ「指示していない Holding Point に貴社運航機が Taxi した。報告書などは不要だが気を付けるように」との電話連絡。

この連絡を受け、機長より管制官へ電話し「Taxi to Holding Point と許可を受けたが Holding Point の指定を受けていないので全ての Holding Point に Taxi していいという認識でした。

正対風で Taxi できる最も近い T3 に向かったが問題ありましたか」と確認した。すると、管制官の認識は「RWY 27 の場合は T4,T5, T6 に Taxi すると思っていた。T1,T2,T3 に Taxi する場合は Request されるものだと思っていた。今後空港利用する場合は気を付けてください」と伝えられた。

(VOICES コメント)

・基本的な ATC のリクエスト及びクリアランスについては定め

られた用語を使用し、用語の意味を正確に理解し方式を遵守することが重要かと思われます。インターセクション・デパーチャーを行う場合は事前にリクエストを行うことで管制官と共通認識を持つことができますね。

<②> 指示高度を守るのが難しい

羽田空港行きで、巡航高度 FL410 飛行中、計算上の TOD よりも早く ATC より FL340 への降下の指示。指定どおり降下開始。

その後しばらくして ATC より“Cross 20NM W of BILLY at or below FL360”の指示。ATC へはその旨 Read Back。

ATC とのやり取りの後、現在の Position と高度を確認すると、既に指定地点の直近恐らく 5NM 前後手前で、高度は FL390 を切った辺りだった。指示高度での通過は不可能と判断しその旨通報しようとしたが、ATC は他機との通信中で、やっと通信が途絶えたところで、指示高度で通過できない旨通報した（その時点では指定地点を通過する辺りで高度も FL370-380 辺り）。

その後 ATC からは“DES FL340”の指示。結果、当初の指定地点を指示高度で通過できなかった。最初の ATC からの指示時点で即座に Position と高度の相関関係から不可能と判断し通報できていれば防げたかもしれない。



[5] 【お知らせ】 RNAV 講演会 7/19 東京/オンライン開催
お申込受付開始



自家用・事業用操縦士（計器飛行証明保持者）などの小型航空機の運航者を対象とし、RNAV の普及の一助として、RNAV 航行を実施する際に求められる RNAV に関する基礎知識の付与を目的とします。また、GPS を航法装置としての IFR 運航を行う方向けに第 1 回目は GPS 通達の内容や GPS や FMS・NAV データベース等の基礎知識習得に適した内容となっております。

【開催日時】 2026/07/19(日)13:30～17:00

【開催形式】 実参加またはオンライン (Zoom)

【場所 (実参加)】 日本航空機操縦士協会 会議室

【参加費用】 会員:無料 / 一般:10,000 円

【内容】

- (1) GPS の概要
- (2) 「GPS を計器飛行方式に使用する運航の実施基準」の
通達内容について
- (3) FMS と NavDB
- (4) NavDB に係る諸注意

お申込みはこちら

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=2>



[6] 【お知らせ】 セミナー・イベント



《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

5月23日 北海道開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

《航空安全講習会》

6月6日 東京開催 (AOPA 主催)

6月27日 熊本開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

《RNAV 講演会》

7月19日 東京/オンライン開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=2>



[7] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内



【新発売】

・ 区分航空図 501 (第 6 版)

・ 区分航空図 502 (第 8 版)

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>



[8] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会案内



JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険 (ロスオブライセンス) へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページよりご覧ください。

オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐに入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

★次回の配信は 6 月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
